

教科(科目)	外国語(英語コミュニケーション I)	単位数	3単位	学年	4学年
使用教科書	数研出版 『Revised BLUE MARBLE ENGLISH COMMUNICATION I』				
副教材等	東京書籍 『Revised BLUE MARBLE ENGLISH COMMUNICATION I WORKBOOK』、いっずな書店「Bricks 1」、いっずな書店「Active Reader Intermediate」、リクルート「スタディサプリ」、「スタディサプリ English」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

3 指導の重点

<p>進学希望者が多いことから、</p> <p>① 聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を行い、基本的な言語事項の習得を目指します。文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。</p> <p>② 言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成することを目指します。</p> <p>③ 自分の考えや気持ちを英語で表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを英語で話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりしている。</p>	<p>英語の背景にある文化を理解している。 コミュニケーションに関心をもち、主体的・自律的に言語活動を行い、コミュニケーションを図っている。</p>

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・課題等の内容 ・パフォーマンステストの分析 ・振り返りの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーテストの分析 ・言語活動の取り組み状況の観察 ・パフォーマンステスト ・課題レポートやワークシート ・振り返りの記述の分析 ・課題等の内容 <p>などから、評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動の取り組み状況の観察 ・パフォーマンステストの取組の観察 ・課題レポートやワークシート ・振り返りの記述の分析 <p>などから、評価します。</p>
<p>内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。</p>		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	授業時数	評価方法
4	Lesson2 Fashion as a Mirror of the Times	ファッションという身近な話題を通して、各時代の社会における価値観について学ぶ。	<p>〔言語材料〕 時制（現在／過去／未来）</p> <p>〔言語活動〕 ファッションの流行を追うかどうかについて事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手の質問に答える。</p> <p>〔言語の働き〕理由・原因を述べる</p> <p>〔Unit Activity / Writing〕 ファッションの歴史とこれからのファッションについて、学習したことを活用しながら30語以上で書く。</p>	12	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート</p> <p>取り組みの様子</p> <p>振り返り</p> <p>ワークシート</p> <p>取り組みの様子</p> <p>ワークシート</p> <p>取り組みの様子</p> <p>振り返り</p>

5 ～ 6	Lesson3 Learning to Accept Differences	堤の過去の経験や彼が同作品に込めた思いを通して、差別や偏見を乗り越えるには何が大切かを考える。	<p>[言語材料] 助動詞/受け身</p> <p>[言語活動] 行動を起こした経験について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 確信を述べる</p> <p>[Unit Activity / Speaking] 堤大介と彼が作品に込めた思いについて学習した表現を用いて、自分の意見を話す。</p>	1 2	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り ワークシート 取り組みの様子</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
	前期中間考査				
7	Lesson4 Changing Behavior in Unique Ways	ユニークな仕掛けの事例を数多く紹介する。また、社会問題を柔軟に解決するためのソーシャルデザインについても学ぶ。	<p>[言語材料] 不定詞/動名詞/疑問詞+to do/ 使役動詞</p> <p>[言語活動] 人々の行動を変えるための仕掛けについて、事実や自分の考えを整理して考えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 長所・利点を述べる</p> <p>[Unit Activity / Speaking] 仕掛けとソーシャルデザインについて学習した表現を用いて、自分の意見を話す。</p>	1 2	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り ワークシート 取り組みの様 ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
8 ～ 9	Lesson5 A Journey to Peace	ルイズの激動の人生を通して、平和の尊さや教育の果たす役割について学ぶ。	<p>[言語材料] 知覚動詞/使役動詞</p> <p>[言語活動] 日本の公教育について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 推測する</p> <p>[Unit Activity / Writing] ルワンダ内戦とマリールイズについて学習した表現を用いて 40 語以上で自分の意見を書く。</p>	1 4	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り ワークシート 取り組みの様子</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
	前期期末考査				

10	Lesson 6 What Can We Eat in Space?	ISS (国際宇宙ステーション)でのビニール袋を用いたレタス栽培実験や、月での地下農場計画の事例を通して、今後の宇宙での食料生産の可能性について学ぶ。	<p>[言語材料] 関係代名詞</p> <p>[言語活動] 宇宙でやってみたいことについて、自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 妥当性を述べる</p> <p>[Unit Activity / Speaking] 宇宙での食料生産について、学習した表現を用いて40語以上で自分の意見を話す。</p>	1 2	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り ワークシート 取り組みの様子</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
11	Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets	ウェッデルアザラシ、チーター、ペンギンのバイオロギングの事例を取り上げ、データを分析することによって明らかになった、動物たちの秘密について紹介する。	<p>[言語材料] 関係副詞</p> <p>[言語活動] 動物に関する問題について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 例を示す</p> <p>[Unit Activity / Writing] バイオロギング研究やその事例について学習した表現を用いて、40語以上で自分の意見を書く。</p>	1 0	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り ワークシート 取り組みの様子</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
	後期中間考査				
12	Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists	世界と日本の事例を通して、「オーバーツーリズム」によって観光地に発生するさまざまな弊害について学ぶ。また、その解決策と観光業と地元住民の生活バランスについて学ぶ。	<p>[言語材料] 仮定法</p> <p>[言語活動] 日本への外国人観光客の増加について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 方法・解決策を示す</p> <p>[Unit Activity / Speaking] オーバーツーリズムについて、学習した表現を用いて自分の意見を話す。</p>	1 0	<p>ワークブック</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p> <p>ワークシート 取り組みの様子</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>

1	Lesson9 Surviving in the Information Age	玉石混交の膨大な情報の中から真実にたどり着くために、私たちはどのようなことに気をつければよいかを学ぶ。	<p>[言語活動] ファクトチェックについて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 目的を述べる</p> <p>[Unit Activity / Writing] 正しい情報の見極め方について、学習した表現を用いて、50語以上で書いたりする。</p>	10	<p>ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
2	Lesson10 The Spirit of Zen: Less Is More	禅の精神とは何か、禅の修行はどのようなものでその目的は何か、そして禅が日本文化に与えてきた影響にはどのようなものがあるかについて学ぶ。	<p>[言語活動] マインドフルネスの実践について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手の質問に答えたりする。</p> <p>[言語の働き] 比較する</p> <p>[Unit Activity / Writing] 禅の精神と世界への影響について、学習した表現を用いて、50語以上で自分の意見を書く。</p>	10	<p>ワークブック ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p> <p>ワークシート 取り組みの様子 振り返り</p>
	後期期末考査				
3	Optional Lesson1 : Reading Swans Mate for Life	登場人物の心情を読み取る。	話の概要を理解し、リテリングする。	4	ワークシート 取り組みの様子
	Optional Lesson2 : Reading&Listening Tracking Santa Around the World	登場人物の心情を読み取る。	話の概要を理解し、リテリングする。	4	ワークシート 取り組みの様子

計110時間 (48分授業)

7 課題・提出物等

- ・ワークシート、課題レポート
- ・ワークシートや振り返りシートの提出や、ライティングやスピーキングのパフォーマンスのテストを行います。
- ・適宜大学入試対策課題もあります。

8 担当者からの一言

英語の学習には「聞く」、「話す〔やり取り・発表〕」、「読む」、「書く」の4技能5領域のバランスが重要です、様々な題材を通して、自分の考えを深め、積極的に英語で意見を伝え合いましょう。また、英文を読み書きする際には、背景知識が必要です。普段からニュースや新聞などを利用して、多くの情報に触れてください。

(担当：高松、室本)